

少神

027
101
2

027
101
2



友子

叶年之梅枝に花をまき
 花のゆきれし新き人と
 かうきまをふくそり流子に
 くしきうし流子とむすしぬ
 ち乃るましふきんもはる

ありとありと一と一のおとね
そのれよをををりりりりりり
とととととととととととととと
とととととととととととととと
とととととととととととととと
とととととととととととととと

さねお 梅のぼ

梅賦雅伯神たの賀

梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき
梅のつとふとやすくや 梅あふき

七十九
梅室

岱年 昂尤 素屋 天遊 冷節

老々松を力ま〜〜〜〜まのまふ
 白くはくちま〜〜〜〜まのまふ
 老々松を力ま〜〜〜〜まのまふ
 白くはくちま〜〜〜〜まのまふ
 老々松を力ま〜〜〜〜まのまふ
 白くはくちま〜〜〜〜まのまふ

兩峯
 柳
 蘭圃
 雀叟
 いとが
 白臺
 徑水
 惠雨

松を根〜〜〜まのまふ
 老々松を力ま〜〜〜まのまふ
 白くはくちま〜〜〜まのまふ
 老々松を力ま〜〜〜まのまふ
 白くはくちま〜〜〜まのまふ
 老々松を力ま〜〜〜まのまふ
 白くはくちま〜〜〜まのまふ

松圃
 虚舟
 霞丁
 養虎
 眠馬
 二仙
 文石

未定
 燕一

はるかなるをいひまじりて

又大りのまじりて 出づるゝとふらそ

一倍も まじりて まじりて 梅や日乃 四つみ

日 まじりて まじりて 今三年

まじりて 老くま 代経る 月日星

まじりて 名とまじりて 梅乃とまじりて 外

まじりて 情とまじりて いとまじりて

五 鈴

蟻 扇

番 麦

寂 夜

四 好

一 ^{カタ}夕、 笑

四季混雜

冬のいと引くや 根竹を 移わさるふ

晴のほろけり 暑くたて 冬の日

秋の向くふしき 梅乃つらさるふ

花とれりともく 夏節や 垣乃内

物くさすけ 巨鐘の 酔や 目と梅

西木の 世まよと 春けいふ女のともふ

さる者や 春のつらさる 竹叩者

京 虚白

有節

梅通

九起

祭魚

廿九 大翠

七三 岳鳳

いづれは 竹やまの 春風さる 山の山

竹の気ぬく 夏ふさる 雨の冬

眼休め 不指 瘦の 夏や 目や 彫

さるや 春さる 秋の 秋 明

冬さる 春さる 冬を 入る 秋さる

人 竹の 春さる 夏さる 秋さる

竹の 春さる 夏さる 秋さる 冬さる

さる 竹の 春さる 夏さる 秋さる

十六 林曹

十三 太乙

白菫女

曲阜

三田 冬岐

一十 一具

由誓

逸淵

唐名てる名をいふと相一葉
 なるけいけいけいけいけいけい
 白くちやなしく山なき未刻下り
 雨さき入るまの目くくめ鶴うか
 其のくくくくくく梅さき手ぬ
 多つ相たきくくくく柳一外
 築くくくくくくくくくくくく
 秋くくくくくくくくくくくく

流花
 茶静
 伯遠
 樹石
 三和
 田澄
 乙良
 春室

果てしなく好むべき二月の
 ささく日くくくくく柳くく
 けいけいけいけいけいけいけい
 出の日のいけいけい梅さき手ぬ
 ぬくぬくくくくくくくくくく
 けいけいけいけいけいけいけい
 けいけいけいけいけいけいけい
 けいけいけいけいけいけいけい

西躰
 北洋
 双鳥
 慈平
 呂圓
 杜凌
 黄山
 梅裡

けりてはしるすもよほしきもよほしきか
 きりてはしるすもよほしきもよほしきか
 一と箱のついでにうけとてはしるすもよほしきか
 けりてはしるすもよほしきもよほしきか
 けりてはしるすもよほしきもよほしきか
 けりてはしるすもよほしきもよほしきか
 けりてはしるすもよほしきもよほしきか
 けりてはしるすもよほしきもよほしきか
 けりてはしるすもよほしきもよほしきか

李裳

山四

几凉

山田
文車

川草
东宁

四胃
流芳

初時
鏡

白子
竹人

けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか
 けてんしるすもよほしきもよほしきか

寺
雪當

家
偏也

緑沈

柳蝶

冬雨

岑風

茶山

冬花女

小まゆや 淋はくするそのあつ
らけくその戸 ぼろをこし 五月雨
一ト 雨を 浄くく 釜の 内復け
梅の雨 晴よ びきりかき 瓦うを
干し 網を ねふ 小蠅の まま 入し 外
沿に 衣を着て 万合の手入の 内 梅外
梅の雨 晴や ちかて 山く ときき 中

初花のつるふ

士丈
紫玉
芦朮
松檜
野鳥
花有
花因

まむり 板のわくをむくやととくし
花のつる 結ふや ちかて 初花
くわふふえ ねばしむく 外一の 葉
ちかて ねく ちかて ちかて ね

ふふふふふ 初花
つるふふふ 初花
初花のつるふ

草雪
初葉
野芳
春整

梅のつるふ

梅咲

元年乃西塗

ねつ色もろくろひきくろくろくろく

梅室

枯あしそくろくろくろくろく

梅暁

別奈よしの語こまを葉うさ

室

海もろくろくろくろくろく

暁

くろくろくろくろくろくろく

室

啼くろくろくろくろくろく

暁

白乃目とあまのくろくろくろく

室

都と志くろくろく村乃石介

暁

ふろくろくろくろくろくろく

室

あくろくろくろくろくろく

暁

文くろくろく階のぼれんくろく

室

あめくろくろくおは川くろく

暁

あめくろくろく弱のあめくろく

室

あめくろくろく積乃くろく

暁

俾羅くろくろく柘くろくろく

室

羽ももふふ とう後まへん

たのびる ぼろあひてりてなご

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

吸

空

吸

〃

空

吸

空

吸

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

あふふふふふふふふふふ

空

吸

空

吸

空

吸

空

吸

けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし
 けりてはるるをよみし

未乃夏

時哉

室 暎 室 暎 室



